

(様式第4号)

第8回 塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	塩田地域協議会
2 日時	平成29年11月16日(木) 午後1時30分から午後3時まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	山極会長、山部副会長、阿部委員、伊藤委員、尾崎委員、工藤委員、窪田委員、小林委員、坂田委員、竹内(榮)委員、竹内(弘)委員、竹下委員、龍野委員、西川委員、林委員、本間委員、増澤委員
5 市側出席者	北沢センター長、土屋地域振興政策幹、佐藤主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 無
8 会議概要作成年月日	平成29年11月22日

協 議 事 項 等

1 開会(副会長)

2 あいさつ(会長)

3 協議事項

(1)専門委員会の取組状況について

「地域振興委員会」

(委員会代表者)11月9日に委員会を開催し、農産物直売所に関する市への提言内容について検討した。塩田地域に直売所はいくつもあるが通年営業するところがない。通年営業するには加工施設を整備する必要があるのではないかとこの観点で提言していくことを検討している。

(委員)加工施設の整備について提言するには、施設の維持や、何をどの程度作り、販売できるかなど具体的なものがないと、ただ整備して欲しいだけでは提言にならないのではないかと。

(委員会代表者)御指摘のとおりであるが、上田市も農産物マーケティング推進室をつくり、6次産業化に力を入れていくということであれば、塩田地域に足りないものとして加工施設の支援も可能ではないかと考えている。

「地域福祉・教育委員会」

(委員会代表者)10月24日に長野大学で環境ツーリズム学部の松下ゼミ4年の学生9人と懇談し塩田地域に住んでいただくためには地域住民や企業、行政はどうすべきか等を聞いた。学生は別所線や豊かな自然に魅力を感じていた。

公立大学法人化された長野大学に関する調査研究について、これまで住民や企業へのアンケート、大学が行った学生へのアンケート結果の分析を行い、今回学生との懇談を行った。これを踏まえて11月7日及び11月13日に委員会を開催し、市への提言内容について検討した。

「地域環境保全委員会」

(委員会代表者)11月10日に委員会を開催し、荒廃竹林の解消に関する市長への提言内容について検討した。

提言に当たり、竹藪が増加している現状に関する資料として、航空写真を利用した経年変化の状況、自治会アンケート結果、上小森林組合との意見交換の内容、新聞記事を考えている。竹林増加について研究している長野県環境保全研究所の高野氏と11月27日に意見交換を行う予定である。

伐採した竹の活用の研究状況については、まず竹粉に粉碎して土壌改良材として実験を行ったが、結果にばらつきがあり、竹粉の効果について現段階でははっきりしない状況である。また、竹粉を堆肥の基材として提供したり、長野大学の学生が竹粉を利用したキノコの菌床栽培も行っている。

このほか、タケノコとしての利用についても検討した。整備された竹林からは良質なタケノコが収穫できることがわかった。

共同作業で竹藪の改善した実践事例としては産川竹藪活性化クラブがあり、活動内容を調査した。

これらの調査を資料としてまとめ、市へ提言していきたい。

「地域安心・安全委員会」

(委員会代表者) 本日午前、上田市危機管理防災課と地域防災対策や自主防災組織に関する上田市及び塩田まちづくり協議会への提案について懇談した。これを受けて市への提言について一部修正する。

(委員) 市のメール配信や屋外放送設備など災害時の住民への情報伝達手段は様々あるが、全く情報が届かない人はどのくらいいるのか把握しているか。

(事務局) 明確に把握はできていないと思われる。

(委員) 一人暮らしの高齢者など情報が届きにくい人には、何らかの効果的な情報伝達を行うなど対象者によって情報の伝達手段は異なるのではないかと思う。

(委員) 東塩田地区自治連で広域避難場所の勉強会を行った際に、現在の広域避難場所が自治会員を分断するなど地域にとって適した場所であるのか疑問に思った。また、小学校など施設管理者が不在の際に避難する事態になった場合、自治会長が合鍵を持っていれば迅速に対応できるのではないかと思った。

(2) その他

なし

4 その他

- ・地域協議会から市長への意見書の様式を示した。
- ・1月は市長への提言を予定しており、市から協議事項等が無ければ開催を見送ることとした。
- ・事務局から「わがまち魅力アップ応援事業平成28年度事例集」の配布や各種情報提供を行う。

5 閉会(副会長)

終了後、時間まで専門委員会ごとに打合せ